

第363回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 令和元年11月25日（月）午前11時より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 7人

出席委員

| | | | |
|--------|-----|--------|------|
| 若杉 隆平 | 委員長 | 田村 明子 | 副委員長 |
| 飯塚 智 | 委員 | 増満 浩志 | 委員 |
| 野内 隆裕 | 委員 | 大久保 千春 | 委員 |
| 柳川 かおり | 委員 | | |

会社側出席者

| | |
|---------------|--------------------------|
| 代表取締役社長 | 務台 昭彦 |
| 取締役放送本部長兼編成局長 | 稲田 裕之 |
| 取締役報道制作局長 | 寺内 邦彦 |
| 報道制作局制作部長 | 竹野 和治 |
| 番組プロデューサー | 倉島 実 |
| 事務局 | 安部 貴俊 小野塚由起子 吉田 康宏 |

4 議 題

1) 番組合評

「報道特番 つたえる

中越地震 15 年 山古志をみらいへ」

[放送：2019 年 10 月 19 日(土)[10：00-10：30]

(説明：番組プロデューサー 倉島 実)

2) 会社報告

①2019 年度上期放送番組種別報告 (報告：番組審議会事務局)

②2019 年度下期基本番組種別報告 (報告：番組審議会事務局)

③10 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

④講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「報道特番 つたえる 中越地震 15 年 山古志をみらいへ」は中越地震から 15 年が経ち加速している高齢化、薄れゆく地震の記憶の二つを大きなテーマとしました。

中でも全村避難した山古志で今年中越地震の体験を基にした紙芝居を作った方と授業で勉強しているが地震を知らない小学生 6 年生の二人をとおして中越地震を「つたえる」とのテーマで制作・放送した。という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 全国で大きな災害が多く、中越地震の記憶も薄れてきていたが改めて、中越地震の大きな被害ことを思い出させてもらった。

- 災害報道以外で知られていない山古志の方々の当時の苦労・思いも知ることができた。
- タイトルで感じた印象と違って、前向きになれる番組だった。
- 出演者の対象を絞ることで、共感しやすく、番組に引き込むことに成功したなど思った。
- 松井さんの「春になったら又ここに帰ってきたい」という言葉が、雪国の人々の冬のつらさを耐えて、春に希望を繋ぐという気持ちが分かった。
- いい番組だった。
- 子供に話を伝えるには難しさがあるが、紙芝居の物語の中に登場させていたことは彼らに対して大きいことだと思った。
- 山古志の子供たちの自然な感じが良かった。
- 紙芝居の最後に子供たちを登場させていたことに感動した。
- シンプルな作りで内容が入ってきた。
- テーマの「つたえる」には“伝える事の大切さ”“次起きた時の備え”“15年かけて蘇った希望・文化の伝承”が入っていたと思った。
- 山古志に来ている観光客の目的等を掘り下げて欲しかった。
- 松井さん夫妻の表情に印象付けられた。
- 伝える“もの”が「山古志のすべてを無くした悲しい物語では無く故郷を再び蘇らせた素敵なお話だ」というすごく大きいものだと感じた。
- 当時の映像が入っていることにより、記憶が呼び戻された。
- 災害が多い中くさびを打つ内容でいい番組だった。

- 中越地震の回顧にとどまらず人口が 15 年で半減となり我が国の象徴的な地域でもあるが、その中で地域の文化・コミュニティ・伝統を継承するというテーマでもあったのかと思った。
- 主人公は実は、「伝える」ことを実践している中間層の方々ではないのかなと思った。
- 紙芝居がすべてを語っていた。
- 人口減には深く触れず、それより様々な所から人が来て交流しているという情報を入れたことが良かった。
- 紙芝居をフルに聞いて、制作時の思いを聞きたいと思った。
- 問題意識に偏らない番組で共感をもって見れた。
- 30 分が短くダイジェストを削って他に使った方が良いと思った。
- 震災の大きさより山古志の良さを伝える番組だった。
- 皆さんの役割が非常に分担されていて、興味深かった。
- 中越地震は被害が大きくて心に傷がある人も多く大変なことだが、番組ではその大変さが見えなくてものたり感があることによってかえって山古志の皆さんの大変さが伝わってきた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

10 月…… 168 件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2019年10月24日)から、昨日(2019年11月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

- 7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置
- 1) 前回第 362 回審議会では、
「夕方ワイド新潟一番 ガタトピ」24 時間テレビにいがた多宝山-弥彦山縦走企画～足にハンデがある少年の挑戦～」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。
 - 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。
- 8 今回の第 363 回放送番組審議会の公表
- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
 - 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
 - 3) T e N Y ホームページに議事概要を掲載します。
- 9 参考事項（委員への配布資料）
- ・ 第 362 回番組審議会議事録
 - ・ 10 月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
 - ・ 民間放送新聞（10/23 号、11/3 号、11/13 号、11/23 号）
 - ・ BPO 冊子（NO, 206、NO, 207）
 - ・ 2019 年 4 月～9 月番組種別放送時間集計表
 - ・ 2019 年 10 月期基本番組種別放送時間集計表
 - ・ 2019 年 10 月期基本番組表

以上